

令和6年度 第3回 北浜東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年12月17日（火）13時28分から15時10分まで
- 2 開催場所 北浜東小学校 特別室
- 3 出席委員 倉橋 芳久、本間 規子、生熊 義憲、神谷 智里、横田 めぐみ
- 4 欠席委員 市川 寛奈
- 5 オブザーバー 鈴木 雄介（北浜南部協働センター）
- 6 学 校 花井 清孝（校長）、佐野 教代（教頭）、
菅沼 秀明（CS担当教員）、入手 佑香（CSディレクター）
- 7 教育総務課 井島 健蔵
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 入手 佑香（CSディレクター）
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、倉橋委員と本間委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。

11 協議事項

- ・学校教育目標（グランドデザイン）に示す理想の東っ子の姿について

12 会議記録

司会の菅沼から、委員総数6人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

学校から「令和6年度全国学力学習状況調査結果」「前期学校評価の結果と考察」「地域ふれあい活動」「東っ子のびのび応援隊」「いじめの実態」について報告があった。

- ・ワークショップ型意見交換

報告事項の説明と授業参観等を見た子供の姿からグランドデザインに照らし合わせ、知・徳・体それぞれについて達成できていること、また、今後、意識して取り組むとよいこと等を付箋に記入した。記入した付箋の内容を説明しながら台紙に貼った。

★「知」表現する子

- ・ 夢を持つことの大切さや目標に向かって努力する心情を育むために、地域で働く人々に仕事について語っていただくことで職業への興味・関心を高められるのではないか。
- ・ 授業や全体の中では、進んで挙手や自分の考えを発表できる子が増えてきたが、発表できる子が中心となっているように感じた。

- ・ 文章問題が苦手である。また、自分を表現する場面では、知っている言葉が少ないため、言いたいことを的確に相手に伝えることが苦手である。
- ・ 語彙力を高め、自分の気持ちを上手に言葉にするためには「書く」「話す」といったアウトプットも重要になる。
- ・ 朝読書の時間では、どのクラスも集中しているので、落ち着いた学習時間になっている。
- ・ 1月には「特チャレ集会」を計画している。普段は見られない、特技やチャレンジを表現する機会を設ける。
- ・ 子供同士、仲が良く、親しみが過ぎるために遠慮がなくなり、乱暴な言葉遣いになってしまう場面があり、心配になる。

★「徳」自他を認め、大切にする子

- ・ 学校内では、明るく元気に挨拶できるが、登校時など学校外で挨拶ができない場面がある。全員が気持ち良い挨拶ができるようになってもらいたい。
- ・ 朝の集団登校で、黙々と歩いている様子を見ると、ひとりひとりが周りの状況に気をつけて、安全に登校する意識を持っていると感じられる。
- ・ 上級生の下級生への接し方が優しく、学年関係なく相手を認めることができる。真面目で優しい子供が多い。
- ・ 学校評価の結果からも周囲を思いやれる子供たちが増えていると感じている保護者や児童の割合が上がっている。
- ・ 学校支援ボランティアで関わった際には、毎回「ありがとうございました。」とお礼の言葉があり、校内で顔を合わせた時には、声を掛けてくれることがとても嬉しい。

★「体」心身ともに元気な子

- ・ 運動会では、子供たちが全力で競技に取り組んでいた。競技後もきびきびと動くことができ、主体性を感じた。
- ・ 持久走がんばり週間には、登校後や20分休みにグラウンドを走り、頑張っていた。
- ・ 地域ふれあい活動は、地域の方や保護者の方に支えられている。地域ふれあい活動の様子や感想をＣＳだよりで発信していくことが大事になる。
- ・ 地域ふれあい活動の内容を昔遊び・しめ縄づくり以外にも、例えば料理や工作、バドミントンなどの活動を取り入れたらどうか。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、1月31日（金）午後2時から特別室で開催する旨の報告があった。